



## 市民活動の新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地ですそ野を広げている。ファイザー製薬ではヘルスケア分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、昨年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれずに、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2000年度の助成対象となった各プロジェクト(下記参照)を中心に、7回連続(今回は4回目)でレポートする。

	団体名および活動内容・主な活動地域
1	特定非営利活動法人 自立支援センターファイティ ショッピングセンターの機能を生かした福祉サービス 青森県下田町
2	社団法人やどかりの里 精神障害者の政策決定参画をめざした日加交流 埼玉県さいたま市
3	さいたま市精神障害者家族会「もくせい会」 コミスのための「ラウンジ南浦和」 埼玉県さいたま市
4	特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター チャイルドライン千葉「子ども電話」 千葉県
5	インフォシブ InfoSib (Information Service for Siblings) (Web site)
6	川崎水曜パトロールの会 川崎ホームレス保健プロジェクト「冬を生きぬき、春を呼び込め」 神奈川県川崎市
7	特定非営利活動法人 リベラヒューマンサポート 中等教育を補う「コミュニティ・スクール」の実現 静岡県東部地区
8	外国人医療センター 在日外国人に対する医療支援事業 愛知県名古屋
9	特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティー 不登校児童・生徒の支援にかかわるセミナー開催事業 阪神地域
10	西宮心の健康協会 西宮モデルによる地域メンタルケア推進プログラム 兵庫県西宮市
11	地域療育研究会 在宅障害児療育活動の地域ネットワークの構築 山口県宇部市
12	障害を持ちながらも自立と納得のいく社会参加をめざすふれあいセンター 精神障害者のための「つどい」事業の普及活動 沖縄県

# 精神障害者の兄弟姉妹を支え、自分も力強く生きていくための情報を提供する

## 精神障害者を持つ家族「インフォシブ」(WEB SITE)のための情報サービス

InfoSib: Information Service for Siblings

「精神障害者の兄弟姉妹の立場は親とは状況が違います。親は自分の子どもだから身を捨ててもわが子のために尽くそうとする。兄弟姉妹も何とかしてあげたいと思っているけど、やっぱり自分の人生があつて、結婚にしても精神障害者を兄弟にもつために壊れてしまつたり、社会の偏見を恐れて引きこもることもあるのです。」

精神障害者の兄のことで悩みつづけてきた小辻史郎さんが、同じ悩みをかかえた仲間が集まる「川崎兄弟姉妹の会」に入会したのは数年前である。小辻さんはそこで仲間との語らいや勉強会などを通じて心の癒しを得るとともに、同会のHPを開き、GSネットというEメールによる交流の場をつくるなど積極的に活動してきた。このサイートの掲示板に登録できるのは、兄弟姉妹に限定されている。兄弟姉妹が安心



して発言できる場を提供するためだ。

「実をいって私自身も兄のことは黙って結婚したのでかみさんに恨まれていきますし、肩身の狭い思いをしています」と小辻さんは苦笑まじりに語る。だが、そうした活動を続けながら、もっと前向きなかたちで同じ悩みを持つ仲間たちを広く支援できないかと考えて新たに立ち上げたのが、精神障害者を持つ家族のための情報サービス「インフォシブ」(InfoSib=Information Service for Siblings)だ。

2001年1月1日に立ち上げられたという「インフォシブ」。小辻さんの熱いメッセージがこめられている

インフォシブでは家族が必要としている医療から福祉、患者との関わりなどの情報をいつでも取り出せるようになっていて、必要最小限の小さな情報「知恵の種」から始まって、「知恵の芽」「知恵の蕾」へと情報量が増え、さらに総合的、専門的な情報を集めた「知恵の花」へと段階的な情報提供が特徴になっている。情報を段階的にしたのは、いきなり大量の情報を押しつけるのではなく、とりあえず小さな知識から始め、知識が増えてきたら次の段階へ進めばいいという考え方になっている。情報は全国の「兄弟姉妹の会」や専門家、医師、ソーシャルワーカーなどにアクセスしてもらって提供を受けるが、情報提供者には文章を書くのが苦手という人もいる。そういう人たちにも断片的でもかまわないから「知恵の種」として登録してもらつという

意味もある。受けた情報は内容を確認し、提供者と相談しながら編集し直して登録される。インフォシブには「情報から知識、知識から知恵へ」という言葉が掲げられている。これは「精神障害者の兄弟姉妹を支えていくうえで必要な情報と適切な知識を持ち、自分も心強く生きてほしい」という小辻さんの思いがこめられたメッセージだ。

